

ほっと

2022.秋
第17号

福井循環器病院連携通信

(財)日本医療機能
評価機構認定病院



福井循環器病院は、
(財)日本医療機能評価機構が定める認定基準
を達成していることを証する認定証の交付
(2017年10月6日)を受けています。

理念

私たちは いつかなる時も
自分たちの持てる力を 十分に発揮し
最先端の医療を 提供できる様に 常に研鑽を積み
患者さんに豊かな人生を 提供いたします

ご挨拶



心臓血管外科
副院長 門田 治

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、地球温暖化が原因なのかな年々異常気象による被害が増加し、特に線状降水帯にともなう異常降雨には、いつどの地域が襲われるかわからない状況になっています。8月初旬の豪雨災害にあわれた方には心からお見舞い申し上げます。

昨今、医療の現場では新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、一部では通常診療の支障も報道されています。その中であって循環器疾患は急を要する症例も多く、通常診療を維持継続していくことが我々の使命であると心得ています。

最近の医療の大きな流れの中に「低侵襲化」というテーマがあります。「安心・安全」という大前提の下で、いかに患者さんにとっての負担を減らしていくかということです。例えば入院期間短縮であったり、治療後の体力低下予防であったり、治療に伴う痛みの軽減といったことです。もちろん疾患によっては従来ながらの治療が最適と考えられるケースは多いですが、従来の切開を伴う手術ではなくカテーテルを使用した血管内治療はできないか、あるいは血管内治療は困難であっても従来より小さな切開で手術を行うことにより術後の社会復帰が早くならないか、それぞれの患者さんの状況を踏まえて患者さんとともにベストの治療方針を考えていこうと取り組んでいます。

2016年より導入した経カテーテル大動脈弁置換術 (TAVI) は、延べ200例を超え、最近では局所麻酔下で行うケースが増えています。また今後は僧帽弁に対するカテーテル治療導入に向けて準備を進めています。

また切開をともなう手術においても、2019年に肋間小開胸アプローチによる胸腔鏡下心臓弁膜症手術を導入し、現在40例を超え適応拡大を検討しています。

今後、「ウィズ・コロナ」がどのような形で進んでいくのか、またそれに伴う医療提供体制がどのように変わっていくのか、まだまだ予断を許さない状況が続くと思われませんが、県内唯一の循環器疾患専門病院としての使命をもって、皆様と協力しながらよりよい明日の福井県の地域医療に取り組んでいきたいと考えています。

今後とも福井循環器病院に温かいご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

福井循環器病院 地域医療連携室

受付時間/平日 8:30~17:00
土曜 8:30~13:00
TEL:0776-54-5761 (直通)
FAX:0776-54-5977 (専用)
E-mail:heart-renkei@fcvc.or.jp

※左記、受付時間以外の電話・FAXは
下記番号までお願い致します
TEL:0776-54-5660 (代表)
FAX:0776-54-5977 (時間外外来)

当院でのマイトラクリップへの取り組み

福井循環器病院循環器内科の永田庸二と申します。当院に赴任して5年目になります。主に心血管カテーテル治療と重症心不全の診療に従事しています。

心血管カテーテル治療の進歩はめざましく、最近では重度の僧帽弁閉鎖不全症 (MR) を対象とした新たな構造的な心疾患のカテーテル治療として、マイトラクリップが国内でも徐々に普及するようになってきています。虚血性心筋症や拡張型心筋症を背景とした重症心不全では、左室の高度なリモデリングから僧帽弁の弁下組織が後側方に牽引されて生じる”機能性MR”が問題となる場合があります (Figure 1)。

重度の機能性MRは心不全患者の独立した予後規定因子となりますがこれまで開心術以外に直接的な治療手段が存在せず、手術侵襲の負担が大きいことから実際に治療されることは殆どありませんでした。今回登場したマイトラクリップは大

腿静脈からカテーテルを挿入し、僧帽弁の前尖と後尖を左房側から挿入したクリップで把持してMRを制御するカテーテル治療であり (Figure 2)、近年の大規模臨床試験において心不全患者の予後改善に寄与する良好な治療成績が示されています。マイトラクリップは重症心不全に対するカテーテル治療として非常に注目されています。

マイトラクリップは2018年4月に本邦で保険償還されましたが、コロナ禍のため国内の新規施設認定数はしばらく停滞していました。その中で当院では数年をかけて診療の体制を整え、2022年秋頃を目処に福井県で最初の施設認定を取得する見込みとなっています。左室駆出率 (LVEF) 20%以上で中等度以上のMRを有する心不全患者さんを診療された際は是非当院までご紹介いただけますよう、是非ともよろしくお願いいたします。



循環器内科
部長
永田 庸二

Figure 1. 高度の機能性MRを伴う拡張型心筋症の心エコー画像

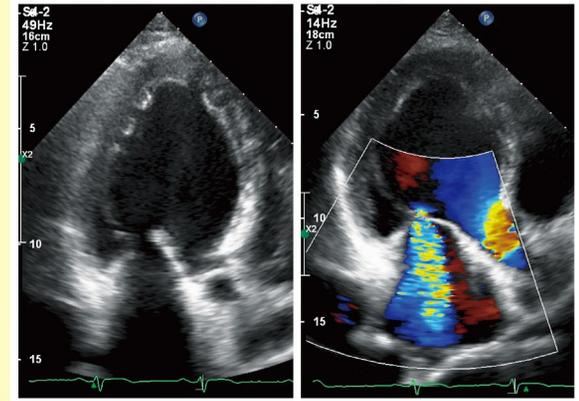
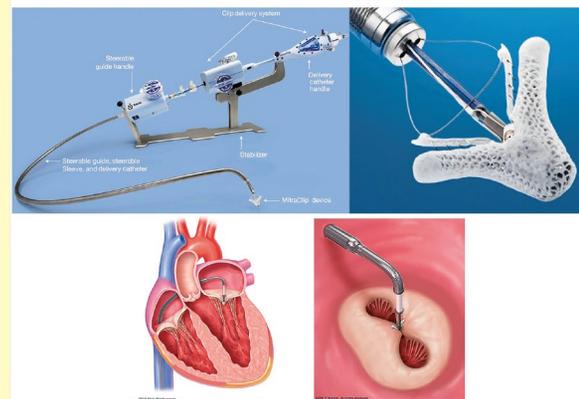


Figure 2. Abbottの経皮的僧帽弁接合不全修復システム (Mitraclip)



地域医療連携室

4月に新人医療ソーシャルワーカー(MSW)1名を迎え、大里院長兼連携室室長のもと10名のスタッフでスタートしました。看護師、MSW、事務など、職種や専門性の違いを越えて多職種が協働する職場ですが、部屋が小さいこともあり、情報共有がスムーズにできるメリットがあります。

当連携室は退院支援部門もあり、各病棟に配置されたMSWは、一人ひとりの患者さんの人生の中で、大切にしていることをご家族と共有しながら病棟看護師と一緒に退院支援を行っています。また、退院後の外来でも患者さんに困ったことがなかったか、生活の様子をお聞きしています。コロナ禍からオンラインでの退院前カンファレンスも増えましたが、地域の医療機関や福祉施設の方々との「顔の見える連携」にも努めています。

また、地域の医療従事者を対象とした「地域開放学習会」を開催し、地域の医療機関や福祉施設の方々の知識の向上に役立てていただき、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活できるよう取り組んでいます。

事務においては、当院ならではの規模で大里院長のモットーである『フットワークが軽いこと』を念頭に置き、地域の先生方には小回りの利く病院であるよう努めたいと思います。検査のみでも対応いたしますので、お気軽にご依頼ください。また、コロナ禍でのもう一つの役割として、患者さんの感染症徴候などの聞き取りを行うことがあり、各機関の皆様にはお手数をおかけしていますが今しばらくご協力のほどよろしくお願いいたします。



看護グループ
師長
木谷 春枝



医師の紹介

心臓血管外科 部長 櫻山 紀幸
卒業年次：平成19年
専門領域：心臓血管外科
認定医・専門等
・医学博士(2017年)
・外科専門医
・心臓血管外科専門医
・植込み型補助人工心臓実施医

福井の地で、都市部に負けない最善・最良の医療が提供できるように努力致します。何でもお気軽にご相談下さい。

循環器内科 部長 多賀 雅浩
卒業年次：平成15年
専門領域：循環器内科
消化器内科
腫瘍内科
認定医・専門等
・総合内科専門医
・消化器病専門医
・肝臓専門医
・消化器内視鏡専門医
・がん薬物療法専門医

虚血性心疾患や心不全等の循環器疾患の診療に加え、内視鏡検査や処置など消化器疾患も併せて担当しています。宜しくお願い致します。

循環器内科 医長 深川 浩史
卒業年次：平成23年
専門領域：循環器内科全般
認定医・専門等
・日本内科学会認定内科医
・日本循環器学会認定
循環器専門医
・日本心臓インターベンション
治療学会認定医
・日本心臓リハビリテーション学会
心臓リハビリテーション指導士

丁寧な診療を心掛けています。

地域開放学習会予定

※会場参加とWEB配信あり、当院ホームページからお申し込み頂けます。

- 第6回 11月10日(木) 19:00~20:00
心臓の検査「核医学検査(RI)ってどんな検査?」
- 第7回 12月 1日(木) 19:00~20:00
1.循環器疾患の主な内服 2.心不全の栄養管理

患者さんの権利

福井循環器病院で医療を受けられる患者さんには次のような権利が保障されます。

1. 患者さんが、ひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。
2. 患者さんは、どなたでも平等かつ公平に、良質で高度な医療を継続して受ける権利があります。
3. 患者さんは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)と情報を受ける権利があります。
4. 患者さんは、説明と情報提供を受け、充分理解・納得された上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利、あるいは拒否する権利があります。
5. 患者さんは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 患者さんは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
7. 患者さんは、病院内でのプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

患者さんには、良質で安全かつ効率的な医療の提供を受けて頂くために次のことをお願いいたします。

- ご自身の健康に対する正しい情報の提供と医療への積極的なご参加
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたさないためのご協力
- 療養上、必要な制約を受けることへのご理解

地域医療支援病院

医療法人 福井心臓血圧センター

福井循環器病院

診療案内

診療科目

心臓血管外科、循環器内科、小児外科、麻酔科、小児科(小児循環器科)、眼科、放射線科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、肝臓・消化器内科、消化器外科

診療指定

- ・保険医療機関
- ・労災保険指定医療機関
- ・労災保険二次検診等給付医療機関
- ・生活保護法指定支援医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・障害者自立支援法による指定自立支援医療機関
- ・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・地域医療支援病院

その他

人間ドック・訪問看護・居宅介護支援事業

保険診療届出事項 (基本診療料の施設基準)

- 急性期一般入院料1
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1(50対1)
- 25対1急性期看護補助体制加算
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 入退院支援加算1
- 特定集中治療室管理料3
- データ提出加算2
- 呼吸器ケアチーム加算
- 入院食事療養(Ⅰ)
- 開放型病院共同指導料

施設資格(認定施設)

- 胸部ステントグラフト実施施設
- 腹部ステントグラフト実施施設
- 埋込型補助人工心臓実施施設
- 経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設



〒910-0833 福井市新保2丁目228番地
TEL.0776-54-5660(代)

- ホームページ <http://www.fcvc.or.jp/>
- Eメール heart-hospital@fcvc.or.jp

